



《教育目標》
みらいにはばたく さくらの子
おもいあい まなびあい きたえあい

地域を学ぶ、地域で学ぶ

校長

全国、県内の新型コロナウイルス感染症は少し収まってきたと思ったら、また再拡大の様相です。今後も感染症対策を怠ることなく感染防止に努めてまいります。

さて、現在、学校では、体験等を含めた教育活動について、「できない」ではなく「どうやったらできるか」を念頭に、感染症対策を十分に行いながら進めています。写真は、各学年の主な体験活動です。



1年さつまいも苗植え（夢農園）



2年町探検（猿沢地区）



3年養蚕農家見学（松原）



4年川の水質検査（水明橋下）



5年田植え（上野）



6年生交流会（小川小、みどり小と）

どの学年も、生活科、総合的な学習の時間を中心に、「地域を学ぶ、地域で学ぶ」ことを大切にしながら体験活動を行っています。上記の活動は、2～4年生は地域を学ぶ、1、5年生は地域で学ぶ、ということになります。6年生は地域全体での交流、になるでしょうか。

地域で学ぶ、地域を学ぶことは、子どもたちに大きな成長をもたらします。地域への誇り、愛着を育むだけでなく、疑問、問題を解決するための、もの、場所、人からすぐに情報を得ることができ、思考力、判断力、表現力の高まりにつながります。また、地域の人とのかかわりにより、コミュニケーション能力を高めることができます。もちろん、壮大で美しい自然の素晴らしさを学ぶことができます。そのためには、地域の皆様からのご協力が不可欠ですが、本当に協力的な地域の皆様に支えられ、地域の教育力を生かした教育活動を行うことができます。

また、地域、保護者の皆様からは、田植え等の学校ボランティアや交通安全指導も行っていただいています。桑の葉をたくさん寄贈いただいたり、学校の花壇に花苗を植え、水やりなどのお世話をしていただいたりしています。「学校の応援団」として力強く、温かく支援してくださる地域、保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。